

令和2年度12月



令和2年11月30日

文京区立明化幼稚園

人と関わる力を育む

園長 野田久美子

日に日に気温が下がり肌寒い日が多くなってまいりました。

保護者の皆様には、幼稚園公開にご参加いただきありがとうございました。幼稚園公開でご覧いただいたように、子どもたちは毎日様々な好きな遊びを楽しんでいます。

ピザ屋ごっこを始めた3歳児、始めは保育室で遊んでいましたが、しばらくすると職員室まで配達に来ようになりました。配達帽子をかぶり、ピザ型の紙に食べ物に見立てたシールを貼って作った自家製ピザを届けに来ます。Aちゃんは、慣れない場である職員室に始めはドキドキした様子で友達についてきていました。友達が配達する様子や、職員室にいる教師が「おいしいね」と食べる様子をじっと見ていましたが、数日経つと自分もやりたくなり、配達するようになりました。友達の楽しそうな様子や優しくやりとりをする教師の姿を見て安心したのでしょう。

4歳児のBちゃんは空き箱積みを始めました。倒れないように気を付けながら箱を積むBちゃんの様子を見て、数名が「入れて」と声を掛け、Bちゃんは「いいよ」と快く応じました。何度か崩れては積むことを繰り返していましたが、やがて全部の箱を積み上げることができ、「やったあ」と友達と歓声を上げて喜びました。

5歳児のCちゃんは、友達と誘い合いサッカーを始めました。「僕はゴールを守る」「途中で（キーパー）交替しよう」と役割を決め、「ここから蹴るのはなしね」等、自分たちでルールを確認しながら遊びを進めていました。

幼稚園教育要領の領域の一つに『人間関係』があります。幼稚園教育要領とは、幼稚園教育の基準になるものです。『人間関係』の領域には、『教師との信頼関係を築くことが必要であり、それを基盤としながら様々なことを自分の力で行う充実感や満足感を味わうようにすることが大切である』また『自分の感情や意志を表現しながら、自己の存在感や他の人々と共に活動する楽しさを味わい、ときには幼児同士の自己主張のぶつかり合いによる葛藤などを通して互いに理解し合う体験や、考えを出し合ってよりよいものになるように工夫したり、一緒に活動する楽しさを味わう体験を重ねながら関わりを深め、共感や思いやりなどをもつようになる』とあります。

身近な大人との関わりを基盤にしながらか安心して過ごせるようになる3歳児、友達と同じ場で関わりを楽しみながら遊べるようになる4歳児、友達と共通の目的をもち、ルールを守りながら遊べるようになる5歳児など、私たちは、子どもたちの実態を的確に捉え、発達に応じた適切な援助をしていきたいと考えております。また、子どもたちを肯定的に受け止めるとともに、子ども同士のいざこざを調整したり、子どもが葛藤する気持ちに寄り添ったりしながら人と関わる力を育てていけるよう努力してまいります



「ピザのお届けです」（3歳児）



「だんだん高くなってきた」（4歳児）



「僕、キーパーでいい?」「いいよ」（5歳児）